



令和5年度
仙台市の主要事業

ひとが輝く 希望ある未来への挑戦

—令和5年度施政方針から



津波避難広報ドローン。
先端技術を活用し、防災力の高い都市づくりを進めます

国家戦略特区を活用した規制改革の動きを加速させます。

災害に強いまちづくりに向けては、SNSを活用した被害情報の集約等の実証実験に取り組みほか、産学官金の連携による新しい産業創出モデルの構築を目指します。

地域経済活性化に向け、中心部商店街における人流データを分析し、来街者増加や回遊性向上につなげます。また、eスポーツによる高齢者の健康・生きがいづくりや、先端システムを活用したフレイル予防の健診を実施するほか、宮城地区西部においては、AIカメラによる有害鳥獣対策を開始します。学校教育では、デジタルドリルを導入し、それぞれの学びに合わせた教育環境を整備します。行政運営や手続きのデジタル化にも取り組み、各種申請手続きのオンライン化を推進します。

ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む

安心して出産・子育てできるよう、子ども医療費助成の所得制限



妊娠期から出産・子育て期にわたり、切れ目のない相談支援の充実を図ります

を撤廃するほか、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して支える伴走型相談支援と、出産・子育て応援給付金の支給を一体的に実施します。併せて、不妊に悩む方に対する相談支援体制を拡充します。また、定員に空きのある保育所等において、未就園児を定期的に預かるモデル事業を実施するなど、保育サービスの充実を図ります。小学校では、35人以下学級を5年生まで拡充するほか、社会全体で子どもを守るという意識の下、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に全力で取り組むとともに、児童生徒の安全・安心を確保するため、全市立学校への防犯カメラの設置を進めます。本市を巡る医療環境の変化などを見据え、医療政策に関する方針を策定するとともに、オンライン診療を活用して休日・夜間の初期救急医療体制を充実させます。また、困難を抱える子ども・若者への支援強化を目的に、「子ども・若者支援地域協議会」を設置するほか、ヤングケアラーへの支援につながるよう、当事者同士が



仙台市長
郡 和子

我が国が今、アフターコロナに向け動き出す中、本市の未来を切り開いていく鍵は、幅広い人材の交流と新たな価値の創出により、域外から投資を呼び込む、その好循環にこそあると考えます。世界では、スタートアップがイノベーションや新たな雇用を生み出し、本市においても若者をはじめ、多くの方の挑戦と世界への飛躍を後押しすることが、このまちの持続的成長に不可欠です。スタートアップ支援やスーパーシティ構想など、学都仙台的持つ知の力をビジネスにつなげ、世界を舞台とした競争を勝ち抜くとともに、若者の人材定着を図っていきます。さらにG7仙台科学技術大臣会

合等の機会を捉え、世界に本市の魅力を発信し続けることが必要です。本年度を「観光再生元年」と位置付け、重点市場であるタイや台湾へのトップセールスを行うなど、交流人口拡大に取り組めます。本市の未来を見据えたとき、若い世代が生き生きと活躍できる環

悩み等を共有するオンラインサロンを開催します。さらに、困難を抱える女性へのアウトリーチ型相談支援の拡充や、ひきこもりの方の実態・ニーズの把握に向けた調査を実施します。市民活動団体等の専門性を生かした地域の課題解決を進めるほか、民生委員児童委員の活動費を引き上げ、協力員制度を拡充します。

すべてのひとが活躍できるまちの魅力創造し、発信する

国際会議等の誘致に加え、訪日旅行再開に合わせた外国人観光客へのプロモーションに取り組めます。デジタル技術も活用しながら、各自治体と連携した魅力発信や周遊促進を図り、東北のゲートウェイとしての役割を果たします。本市の顔となる都心部においては、都心再構築プロジェクトによる再開発の事業化を目指す地元組織への支援や、仙台駅前エリアの将来ビジョンの検討のほか、勾当台公園・定禅寺通の再整備、商店街活動の支援などを加速します。泉中央エリアにおける交通環境改善の検討や、長町エリアの魅力的な街並み空間づくり等、地域との協働によるまちづくりを進めます。

東部沿岸地域では、貞山運河な

境づくりが重要です。「子育てが楽しいまち・仙台」を実現するため、「(仮称)仙台子ども財団」を設立し、子供未来局を「子ども若者局」に改め、困難を抱える子ども・若者への支援を強化します。本市はこれまで、内外に誇る良好な都市環境を、市民協働により創り上げてきました。青葉山エリアをメイン会場に開催する全国都市緑化仙台フェアを契機に、都の都市ブランドを強化します。また、折り返し時期を迎えた「仙台防災枠組」の中間評価の結果を国際会議などで発信するほか、2050年のカーボンニュートラル実現に向けたGX推進を加速させ、脱炭素の取り組みを暮らしの中に広げていきます。

「まち」も「デジタル」も、全ての中心は「ひと」に他なりません。進化する都市機能等をひとの活躍のために活用し、内外から選ばれる「The Greenest City SENDAI」を実現するため、各般の施策を推し進めていきます。

ひとが輝く、デジタル化を推進する

市民ニーズに即した先端サービスの提供とまちの魅力向上を図るため、仙台MaaSの機能強化や



タイや台湾等で開催される旅行博覧会への出展等、海外でのプロモーションを展開し、交流人口の拡大を図ります

どの地域資源の活用を推進し、回遊性向上と魅力発信に取り組めます。また、指定避難所等の安全性の確認や避難の丘の再整備を行い、災害への備えを講じます。秋保地区では、エリアの特徴を生かした魅力の創出を進め、地域ブランドの価値向上を図ります。農業の持続的発展に向けては、環境負荷の少ない生産方式への転換の後押しに加え、米の活用推進や米粉の需要喚起を図ります。

また、カーボンニュートラルを実現すべく、高断熱住宅の普及や太陽光発電システムの導入支援などの対策を集中的に進めます。

◆ 適正な事務執行があつてこそ、市民の皆さまの信頼を得られ、未来を切り開く施策を推進することができま。構造的・抜本的視点から行財政改革を進め、市民の命と安全・安心な暮らしを守るといふ使命を全うし、109万市民の皆さまとともに、このまちを希望ある未来へ引き継いでまいります。

ひとが輝く、デジタル化を推進する

最先端技術を活用したまちのデジタル化

35億7631万円
最先端のデジタル技術を活用した各種施策を推進し、都市活力の創出やコミュニティの活性化、市民サービスの向上につなげます。未来社会の先行実現を目指すスーパードイツ構想の実現に向け、東北大学や民間事業者と連携し、先端的なサービスの創出を推進します。

次世代放射光施設等関連産業振興

32億8941万円
次世代放射光施設の令和6年度運用開始に向け、施設整備に対する融資等を行うほか、トライアルユース事業など利活用の促進に取り組みます。次世代放射光施設



次世代放射光施設「ナノテラス」。新しい産業や技術の創出による地域経済の活性化が期待されています

の立地を仙台・東北の産業におけるイノベーションや付加価値の創出等につなげます。

防災・減災分野におけるデジタル化

8614万円
産学官金連携による防災関連事業の開発を支援するなど、新しい産業創出モデルの構築を推進します。また、SNS等を利用し、災害時の被害情報等の集約を行う実証実験や、先端技術を活用した避難広報の実施により、地域の防災力強化に取り組みます。

デジタルによる地域産業活性化

6億9485万円
ICT関連企業と幅広い産業の協業や新事業の創出を支援し、ICT関連企業の集積促進など、地域産業の活性化を推進します。地域企業のデジタル化やデジタル技術を活用した新製品等の開発を支援するほか、中心部商店街における人流データを分析し、来街者の増加や回遊性向上のための施策につなげます。

市民の健康のためのデジタル化

4504万円
eスポーツによる高齢者の健康づくりや生きがいづくりを推進するとともに、ICTを活用したフレイル予防のための健診を実施します。また、特定健診の受診率向上に向け、AIによるデータ解析を進め、効率的できめ細かな受診勧奨を行います。

教育におけるデジタル化

3億8748万円
市立小・中学校全校にデジタルドリルを導入し、一人一人に応じた学習支援を行うなど、ICTの活用により多様な学びの充実を図ります。

先端技術等を活用した宮城地区の地域課題解決

1500万円
宮城地区西部において、ICTやAIなどの先端技術を活用した、回覧板の電子化や有害鳥獣対策など、さまざまな地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。

タブレット端末を活用したサービス運用などの利便性向上

8759万円
窓口での申請書記入の負担を軽減する「書かない窓口」の導入や、タブレットを活用した手続き案内、各種申請手続きのオンライン化の推進など、行政手続きのデジタル化を拡充し、市民の利便性向上とサービスの効率化を図ります。

その他の主要事業

- デジタルを活用した賑わい創出 6953万円
- 仙台MaaS推進 1414万円
- 子ども・子育てにおけるデジタル化 2億3219万円
- 医療・救急現場におけるデジタル化 2億737万円
- 人にやさしいデジタル化 1279万円
- 業務のデジタル化 8988万円
- D・S e n d a i ビジヨン策定等 3492万円

※4〜9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます
※金額はいずれも1万円未満切り捨て

ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む

すこやか子育てプラン推進

781億6171万円
安心して子どもを産み育てることができるよう目指して、児童館の整備など、子育て環境の充実等に取り組みます。一時保護児童が入院する際の付き添い支援や、子どもたちの通所スペースであるふれあい広場サテライトの拡充を図るなど、未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう各種施策を推進します。

妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

680億4917万円
子ども医療費助成の所得制限を撤廃するほか、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して支える伴走型相談支援と、出産・子育て応援給付金の支給を一体的に実施します。また、不妊に悩む方に対する相談支援体制の拡充を図るほか、定員に空きのある保育所等において、未就園児を定期的に預かるモデル事業を実施し、保育サービスの充実を図ります。

地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり

3億2892万円
子育てしやすいまちづくりを推進するため、子ども・子育て支援を行う「(仮称)仙台子ども財団」を設立します。また、公園等における自由な遊びを支える活動を支援し、子どもの遊びの環境の充実に取り組みほか、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた企業等の取り組みを推進し、社会全体で子育てを応援する環境づくりに進めます。



公園等での自由な遊び場の運営など、プレーパーク活動等の普及に向けた支援を行います

35人以下学級の実施

6億809万円
35人以下学級編制を、中学校全学年と小学1〜4年生に加え、小

学5年生までに拡充し、教員がこれまで以上に子どもたち一人一人と向き合える体制を強化します。

夜間中学運営

6074万円
4月に夜間中学を南小泉中学校に開設し、さまざまな理由から義務教育を未修了のまま学齢期を経過した方などへの教育機会を確保します。

いじめ防止等対策推進

16億9613万円
いじめの未然防止と早期発見・早期対応につなげるため、指導の中核を担う教諭やスクールカウンセラー等を配置します。「いじめ等相談支援室 S-K E T」などの相談窓口を運営し、いじめに悩む児童生徒等への支援を行うほか、広報啓発など、いじめ防止対策を総合的に推進します。

不登校対策推進

5億2672万円
不登校生徒の学校内の居場所となる在籍学級外教室「ステーション」

ン」の設置校を20校から25校に拡充し、担当教員を増員します。また、社会福祉に関する課題等に専門的な助言指導を行うスクールソーシャルワーカーを拠点校に配置し、一人一人の状況に寄り添った環境づくりや適切な支援の充実を図ります。

困難を抱える子ども・若者支援ネットワーク構築

8404万円
子ども・若者のさまざまな悩みに対応するワンストップ相談窓口「子ども・若者総合相談センター体制」を整備するとともに、支援に携わる関係機関等で構成する「子ども・若者支援地域協議会」を設置し、連携の強化や効果的な支援に取り組みます。また、就労等に不安を持つ若者を対象に自立や就労に向けた支援を行います。さらに、ヤングケアラーへの支援を強化するため、民間機関等による支援体制の構築や、当事者同士が経験や悩みなどを共有するオンラインサロンを開催します。

医療政策推進

6104万円

将来にわたり持続可能な医療提供体制を確保するため、中長期的な目標や具体の施策を示す「(仮称)医療政策基本方針」を策定します。また、高齢化の進展等により増加が見込まれる救急医療需要に対応するため、オンライン診療を活用し、休日・夜間の初期救急医療体制の充実を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策

209億4112万円

新型コロナウイルス感染症の予防および感染者者に対する適切な医療提供体制を確保し、感染拡大防止に努めます。また、新たな感染症に備えるため、これまでの対応の振り返りと事後検証を行います。

男女共同参画の総合的推進

8億6378万円

男女が互いに尊重し合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくりを目指し、働く女性の活躍推進やDV・性暴力被害者支援などの各種施策を展開します。女性・若者支援団体間の連携構築や情報発信を進めるほか、困難を抱える女性を対象としたアウ

トリーチ型相談支援の拡充を図ります。

障害者保健福祉の推進

358億5983万円

共生社会の実現に向け、障害理解や就労と社会参加の促進、障害児支援や地域生活支援体制の充実など、各種施策に取り組みます。ひきこもり状態にある方へ適切な支援を届けるため、実態や支援ニーズの把握に向けた調査を行います。



障害のある方が講師を務める「障害理解サポーター養成研修」の実施など、障害理解促進に取り組みます

地域福祉の推進

13億1375万円

誰もが地域で安心して暮らすことができるよう、多様な担い手による地域福祉に関する活動等を推進します。地域の身近な相談相手である民生委員児童委員の活動を支援するため、活動費の増額や、

担い手確保のため協力員制度の拡充を図ります。

高齢者保健福祉の推進

50億6800万円

高齢者の社会参加の促進や地域支え合い活動への支援、生活支援体制づくりなど、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、各種施策を推進します。地域の商業施設等での生きがい・健康づくりのプログラムの実施や、認知症への理解啓発等に取り組みます。



高齢者の健康寿命の延伸等を目指し、地域における持続的な健康づくりのための取り組みを進めます

地域づくりパートナーサポート

6億1230万円

安全・安心なまちの実現に向けて、町内会等の運営を支援するほか、多様な主体の専門性を生かし、協働で地域の課題解決等に向けた取り組みを推進します。

その他の主要事業

- 確かな学力育成 3億6784万円
- 仙台自分づくり教育推進 7140万円
- 学校教育施設整備 145億9644万円
- 救急体制整備 10億6872万円
- 感染症対策 39億2849万円
- ヘルスケア向上推進 28億3906万円
- 介護予防・日常生活支援総合事業 31億1298万円
- コースチャレンジ推進 1036万円
- 市営住宅建設等 49億1824万円
- 地域施設整備 58億4261万円
- 交通安全対策 34億65万円
- 公共交通活性化等推進 5億2731万円
- 地域安全対策 8565万円
- 消費者支援 3390万円
- 多文化共生推進 4118万円

主要事業

すべてのひとが活躍できるまちの魅力創造し、発信する

観光振興

16億1058万円

国内外に向けた情報発信や観光客の受け入れ環境整備を進めるとともに、ターゲットやテーマを明確化した多彩なコンテンツの拡充等により、誘客促進を図ります。仙台観光国際協会が目指す、観光地域づくりのかじ取り役を担う「観光地域づくり法人(DMO)」登録に向けた支援のほか、国際会議等のコンベンションや企業系会議等をターゲットとした誘致に取り組む、さらなる交流人口の拡大につなげます。

インバウンド推進

1億2056万円

訪日旅行再開を契機として、外国人観光客の誘客を図るため、仙台・東北の魅力を活用した旅行商品の販売やキャンペーンを実施します。重点市場であるタイや台湾においてトップセールスを行うなど、国・地域別の嗜好やニーズ等に応じた効果的なプロモーションを展開します。

G7仙台科学技術大臣会合開催支援等

5742万円

5月の会合開催に向けた支援や機運の醸成などを行うとともに、開催を契機として、本市の科学技術の取り組みや仙台・東北の魅力国内外に向けて発信します。

東北連携推進

2億925万円

東北の各都市や関係団体等との連携を強化し、誘客に向けたプロモーションを展開するなど、交流人口の拡大と地域経済の活性化を推進します。本市を起点とした東北観光のモデルコースの発信等を通じて、東北の周遊促進を図ります。

経済政策・雇用対策推進

232億3795万円

地域経済の持続的な発展のため、「仙台市経済成長戦略2023」の推進に向けた各種施策を行います。中小企業の国内外での新規販路開拓に向けた支援を実施するほ

企業立地促進

5億4852万円

か、若者の地元定着を促進し、人材確保に取り組みます。また、中心部商店街における、若手や外部人材の視点を取り入れた活性化施策の検討をはじめ、商店街のにぎわい創出に向けた支援を行います。

起業支援

2億3613万円

仙台・東北からスタートアップを連続的に生み出す「スタートアップ・エコシステム」のさらなる発展を推進します。都心部に官民協働による支援拠点「仙台スタートアップスタジオ」を開設するとともに、首都圏にも拠点を設け、スタートアップの支援等を行います。また、東北の学生や若者を対

象にスタートアップとの交流の機会や教育プログラムを提供するなど、起業の裾野の拡大につなげます。



シリコンバレーでの個別指導の機会の提供等を通じて、起業意欲の向上や事業創出につなげます

文化振興

5億5273万円

「楽都仙台」・「劇都仙台」の取り組みを推進し、都市の個性と市民の創造性を生み出す文化芸術の振興を図ります。文化芸術の持つ多様な力をまちづくりに生かすべく、文化芸術振興の方向性を示す「(仮称)仙台市文化芸術推進基本計画」の策定に向け、外部有識者による検討やワークショップの開催などを行います。

全国都市緑化フェア推進

6億3716万円
国内最大級の花と緑の祭典である、全国都市緑化フェアを開催します。開催後は緑化フェアで培った市民協働の取り組みを未来へと引き継いでいくため、緑化活動の担い手育成や支援体制の構築などに取り組みます。

青葉山エリアのまちづくり

4億4849万円
青葉山エリアの価値や機能を高める各種事業を展開するとともに、エリア内の相互連携を推進し、魅力の向上を図ります。青葉山公園を杜の都のシンボルとなる公園として整備するほか、青葉山公園内に開館する「仙臺緑彩館」における情報発信や仙台城跡のライトアップ



全国都市緑化仙台フェアの開幕と同時に開館する「仙臺緑彩館」。仙台の祭り文化を体感できる展示や観光情報の紹介等を行います

アップの実施等により、新たなにぎわいの創出を図ります。また、仙台城大手門復元関連基礎調査を含む総合的な調査等を実施し、歴史と趣を感じる景観づくりを進めます。

複合施設基本構想策定等

5538万円
青葉山エリアに、総合的な文化芸術の拠点となる音楽ホールと災害文化の創造を担う中心部震災メモリアル拠点を複合整備するため、基本構想を策定し、基本計画の検討に着手します。

都心再構築プロジェクト

4億1423万円
にぎわいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける「躍動する都心」を目指し、都心の機能強化を進めます。市街地再開発の事業化を目指す地元組織への活動支援など、都心の再整備支援を行います。また、居心地が良く巡り歩きたくなるまちなか空間を創出するため、青葉通駅前エリアでの公共空間の在り方の検討を官民連携で進めるとともに、宮城野通や肴町公園等の利活用など各エリアの特色を生かしたまちづくりを推進し、都心全体の魅力と回遊性を一層高めます。

勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり

21億9603万円
勾当台・定禅寺通エリアの魅力を高め、都心全体の回遊性や活力向上に取り組みます。定禅寺通再整備方針に基づく設計等を進めるとともに、エリアの課題解決に向けた取り組み等への支援を行います。また、市役所新本庁舎低層部と勾当台公園市民広場等との一体的利活用に向けた社会実験に取り組みほか、新本庁舎の実施設設計や勾当台公園再整備に係る基本設計等を進めます。



市民広場でのイベントに合わせて、市役所南側道路等で行われた社会実験。まちのにぎわいの創出に向け、より活用しやすい空間を目指します

機能集約型都市づくりの推進と良好な居住地域づくり

44億62万円
鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりに継続的に取り組みます。昇降施設整備など鉄道駅周辺環境の利便性向上を図るほか、泉

防災環境都市づくり推進

6030万円
国際的な防災の取り組み指針である「仙台防災枠組」の中間評価の結果等を国内外へ発信するほか、仙台防災未来フォーラムの開催等を通じて、多様な市民の主体的な活動を促進します。杜の都の豊かな環境を生かしながら、災害にも強く、日常生活に防災と環境配慮が織り込まれた「防災環境都市」づくりを進めます。



地域団体や企業、大学など、多様な担い手による防災の取り組み等を発信する「仙台防災未来フォーラム」

安全・安心確保の取り組み

25億4444万円
令和4年に公表された新たな津波浸水想定に対応するため、避難の丘のかさ上げなどの整備を行います。避難所等の防災用資機材や備蓄等の強化など、さまざまな自然災害等に対応した防災・減災の取り組みの充実を図ります。

脱炭素都市づくり等推進

6億3966万円
高断熱住宅普及促進のための補助制度の創設や、住宅等への太陽光発電設備等の導入に対する支援などの家庭向け脱炭素施策をパッケージ化し、家庭における温室効果ガス排出削減を進めます。また、中小企業等の省エネ・再エネ設備等の導入への補助等を行うほか、公共施設における太陽光発電設備の導入の推進など、市民・事業者と連携しながら、地球温暖化対策に取り組み、脱炭素都市づくりを推進します。

資源循環都市づくり推進

67億3697万円
製品プラスチックの一括回収・リサイクルを全市で展開するほか、家庭ごみへの混入が多い紙類について、排出方法の見直しや周知広報を強化します。また、フードド



家庭でのごみ減量やリサイクルに向けた、情報発信や啓発の取り組みを進めています

公文書館整備・運営

2765万円
市の成り立ちや施策の記録等、歴史資料として重要な公文書を保管し、閲覧利用できる公文書館を開館し、運営します。

百年の杜づくり推進

7億1267万円
グリーンインフラを推進するため、民有地における屋上緑化等の整備への支援を強化するほか、都市緑地の危険木の伐採等による森林環境整備を行い、杜の都にふさわしい緑豊かな都市空間の形成を、市民協働により進めます。

農林業振興

17億8948万円
6次産業化を推進し、農業の高付加価値化・高度化を図ります。集落営農組織等の人材育成や法人化支援を行うとともに、農業用施設等の基盤整備を進めます。また、環境負荷の少ない農業への転換を支援するほか、米の需要拡大に向けた地元産の米と米粉のPRなど、地産地消に取り組みます。

区役所建て替えを契機とした泉中央地区の交通環境改善に向けた検討を行います。

交遊の海辺づくり

9億8025万円
東部沿岸地域の伝統的なにぎわいづくりに向け、ビジョンの策定に取り組みます。回遊性向上のための交通資源の実証実験や、ウェブの活用等による魅力発信のほか、貞山運河利活用に向けた水中地形調査などを行います。また、防災集団移転跡地利活用や海岸公園の整備などを進めます。

地域づくりパートナーシップ推進

1億512万円
地域により異なる課題にきめ細かく対応し、多様な主体が持つ力を、課題解決やにぎわいづくりに生かす仕組みづくりを推進します。長町地区では歩いて楽しい街並みの形成を目指し、歩行空間等の活用を検討するほか、泉中央地区では地域や大学生等との意見交換会を開催するなど、にぎわい創出ビジョンの策定に向けて取り組みます。秋保地区においては、地域の魅力を生かした交流活動や農産物の特産品化を支援するなど、地域の活性化を図ります。

その他の主要事業

- 仙山連携推進 530万円
- 国際姉妹都市等との交流 1379万円
- 国内姉妹都市との交流 716万円
- 震災復興メモリアル 1億3495万円
- 都市計画街路整備 29億2981万円
- ガス事業の民営化 2378万円
- 若者の地元定着促進 7306万円
- 防災・減災対策の推進 4億5279万円
- 総合的な浸水対策 33億954万円
- 道路新設改良 80億6927万円
- 橋りょう整備 34億22万円
- 公園整備 26億5755万円
- スポーツ推進 24億491万円
- 博物館大規模改修 14億5383万円
- 科学館展示リニューアル 11億8187万円

青葉区

区民協働まちづくり事業
区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「青葉区民まつり」や「宮城地区まつり」などを企画・開催するとともに、区民主体の各種イベントを支援します。また、地域の課題解決や活性化などに取り組むまちづくり活動への助成を行います。



「青葉区民まつり」のフィナーレを飾るすずめ踊り総踊りには、幅広い世代が参加し、会場を盛り上げます

未来につながる地域力推進事業
地域によって異なる課題に対応するため、町内会活動の支援等を行う「出前まちづくりサポートセンター」を運営するほか、マンシオン等のコミュニティ強化、学生の参加による地域づくり推進、作並・新川地区活性化、仙台萬本さくらプロジェクトなどの取り組みを支援します。



新川地区の閉校した小学校でのキャンパイベントでは、学生と子どもたちが交流するレクリエーションなどを実施

また、ICTやAI等の先端技術を活用し、少子高齢化や人口減少が進む宮城地区西部（作並・新川地区、大倉地区）の地域課題の解決に取り組みます。「Fun, Fan, Find」青葉一事業
大町・西公園エリア等において、憩い楽しめる環境づくりを進めるとともに、青葉山エリア等との回遊性向上を図ります。

- 東六番丁児童館建設
片平児童館建設
落合保育所建設
学校教育施設整備
東六番丁小学校、片平丁小学校、中山小学校の校舎等増改築工事をを行います。
貝ヶ森市民センター大規模修繕
旭ヶ丘駅前公共施設整備
広瀬文化センター大規模修繕設計
小島山コミュニティ・センター改築設計
道路整備
高畑定義線、北一番丁1号線等の整備を行います。
橋りょう整備
落合橋の整備や仙台駅西口ペDESTリアンデッキ等の補修工事をを行います。
公園整備
勾当台公園再整備の基本設計、青葉山公園、西公園、上杉公園等の整備を行います。

宮城野区

区民協働まちづくり事業
区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「みやぎの・まつり」の開催や「宮城野盆唄」の普及をはじめ、子育て支援、防災、地域の魅力発信などに取り組むほか、公募によるまちづくり活動への助成を行います。また、次代のまちづくりを担う若手人材の育成を目的とした研修会等を開催し、地域との交流を深め、ネットワークづくりを促進します。



若い世代が、まちづくりについて活発に意見交換を行う「みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業」

未来につながる地域力推進事業
多様な主体の連携による地域づくり活動を進めるため、情報共有・課題検討を行う勉強会や、実践につながるワークショップの開催等をサポートします。
海浜エリア活性化事業
全国都市緑化仙台フェア期間中のイベント開催や仙台塩釜港周辺でのレンタサイクル試行導入等、豊かな自然に触れ魅力を体感できる取り組みを進めます。



海浜エリアでは、松林や湿地を見渡せる「新浜タワー」、貞山運河沿いのサイクリングロードなど、多彩な魅力を楽しめます

子どもの頃からの健康づくり事業
児童等を対象に、心と体の健康づくりに取り組みます。

学校教育施設整備
宮城野中学校の校舎増築工事をを行います。

高砂市民センター大規模修繕設計
コミュニティ・センター大規模修繕（原町、岡田）
鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備推進
福田町駅の移転促進および周辺施設整備
福田町駅移転に伴って予定している、周辺道路や駐輪場等の施設整備の検討を進めます。

道路整備
元寺小路福室線外1線、鍋沼線等の整備を行います。

橋りょう整備
宮城野大橋等の補修工事や、今市橋の補修および耐震工事をを行います。

公園整備
高砂中央公園、岩切駅東1号公園等の整備を行います。

- 子どもへの健康づくり事業
児童等を対象に、心と体の健康づくりに取り組みます。
学校教育施設整備
宮城野中学校の校舎増築工事をを行います。
高砂市民センター大規模修繕設計
コミュニティ・センター大規模修繕（原町、岡田）
鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備推進
福田町駅の移転促進および周辺施設整備
福田町駅移転に伴って予定している、周辺道路や駐輪場等の施設整備の検討を進めます。
道路整備
元寺小路福室線外1線、鍋沼線等の整備を行います。
橋りょう整備
宮城野大橋等の補修工事や、今市橋の補修および耐震工事をを行います。
公園整備
高砂中央公園、岩切駅東1号公園等の整備を行います。

若林区

区民協働まちづくり事業
区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「若林区民ふるさとまつり」や「若林わくドキまち歩き」など、地域の特色を生かし、魅力を発信するイベント等を企画・開催します。また、地域の活性化を図るため、公募により市民団体が自発的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



「若林区民ふるさとまつり」では、区内で活動する学生や団体によるステージ発表などが行われます

未来につながる地域力推進事業
4月の東北学院大学五橋キャンパスの開学を機に、大学と地域が連携・協働する取り組みを推進します。



東北学院大学の学生が制作した荒町・連坊地区の魅力伝える動画の上映会

また、町内会をはじめとする地域団体による課題解決のための取り組みを支援し、市民主体のまちづくりを進めます。

海浜エリア活性化事業
海浜エリアの魅力発信や回遊性向上、ビジョンの策定に取り組みます。また、貞山運河の活用に向け、調査を行います。

六郷地区の健康づくり推進事業
六郷地区の住民や地域団体を対象に、関係機関と協力しながら健康課題の解決に向けた取り組みを行い、「健康で元気に暮らせる町 六郷」を目指します。

区役所庁舎増築および大規模改修工事
施設の利便性向上と長寿命化を図るため、区役所庁舎の増築および大規模改修工事を行います。

夜間中学の運営
南小泉中学校に開設します。

若林区文化センター大規模修繕
沖野コミュニティ・センター大規模修繕
遠見塚コミュニティ・センター大規模修繕設計
道路整備
長喜城霞目線、霞目飛行場北線、南小泉茂庭線等の整備を行います。

公園整備
海岸公園、荒井東3号公園等の整備を行います。

- また、町内会をはじめとする地域団体による課題解決のための取り組みを支援し、市民主体のまちづくりを進めます。
海浜エリア活性化事業
海浜エリアの魅力発信や回遊性向上、ビジョンの策定に取り組みます。また、貞山運河の活用に向け、調査を行います。
六郷地区の健康づくり推進事業
六郷地区の住民や地域団体を対象に、関係機関と協力しながら健康課題の解決に向けた取り組みを行い、「健康で元気に暮らせる町 六郷」を目指します。
区役所庁舎増築および大規模改修工事
施設の利便性向上と長寿命化を図るため、区役所庁舎の増築および大規模改修工事を行います。
夜間中学の運営
南小泉中学校に開設します。
若林区文化センター大規模修繕
沖野コミュニティ・センター大規模修繕
遠見塚コミュニティ・センター大規模修繕設計
道路整備
長喜城霞目線、霞目飛行場北線、南小泉茂庭線等の整備を行います。
公園整備
海岸公園、荒井東3号公園等の整備を行います。

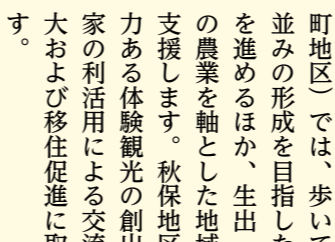
太白区

区民協働まちづくり事業
区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「太白区民まつり」や「まつりだ秋保」を開催するほか、大学との協働により、若者のまちづくり活動への参加を支援する事業などを企画・実施します。また、公募により市民団体が取り組むまちづくり事業への助成を行うなど、地域づくり活動を支援します。



地域の団体等が出演し、歌や演奏、ダンスなどが披露される「太白区民まつり」のステージ

未来につながる地域力推進事業
多様な主体との連携により、各地域の活性化と地域力の向上を図ります。南部拠点地域（長町地区）では、歩いて楽しい街並みの形成を目指した取り組みを進めるほか、生田・坪沼地区の農業を軸とした地域づくりを支援します。秋保地区では、魅力ある体験観光の創出や、空き家の利活用による交流人口の拡大および移住促進に取り組ま



地域の魅力を体感できる秋保・野尻地区の雪遊び体験

健康教育、相談支援の推進事業
学校や地域と連携した「たいはく思春期のいのちの授業」や、障害のある方・高齢者への包括的な相談支援を行います。

郡山遺跡整備
史跡地の公有化と史跡公園としての整備を進めます。

学校教育施設整備
長町中学校の校舎等増改築工事および東長町小学校、富沢中学校の校舎増築工事をを行います。

コミュニティ・センター大規模修繕（大野田別館、人來田）
芦の口コミュニティ・センター大規模修繕設計
特別養護老人ホーム建設費補助（茂庭台中学校区）
道路整備
郡山折立線、鳥宮前街道1号線等の整備を行います。

橋りょう整備
熊野宮橋の整備や、追の沢橋等の補修工事、太白大橋の耐震工事をを行います。

公園整備
富沢駅西4号公園等の整備を行います。

- 健康教育、相談支援の推進事業
学校や地域と連携した「たいはく思春期のいのちの授業」や、障害のある方・高齢者への包括的な相談支援を行います。
郡山遺跡整備
史跡地の公有化と史跡公園としての整備を進めます。
学校教育施設整備
長町中学校の校舎等増改築工事および東長町小学校、富沢中学校の校舎増築工事をを行います。
コミュニティ・センター大規模修繕（大野田別館、人來田）
芦の口コミュニティ・センター大規模修繕設計
特別養護老人ホーム建設費補助（茂庭台中学校区）
道路整備
郡山折立線、鳥宮前街道1号線等の整備を行います。
橋りょう整備
熊野宮橋の整備や、追の沢橋等の補修工事、太白大橋の耐震工事をを行います。
公園整備
富沢駅西4号公園等の整備を行います。

泉区

区民協働まちづくり事業
区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「泉区民ふるさとまつり」や「七北田川クリーン運動」、「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」などのイベントを開催します。また、地域と大学が連携して地域課題の解決を図る「いずみ絆プロジェクト支援事業」を行うほか、公募により区民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



「いずみ絆プロジェクト支援事業」では、学生団体がサッカー教室などを行い、地域の活性化を図っています

▼「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」でのバルーンアート作りの様子



未来につながる地域力推進事業
泉西部地区の活性化に向け、住民主体の活動や地域の魅力発信への支援を行います。また、少子高齢化等の課題がある地区で、地域の方が大学や民間事業者等と協働で行う地域課題解決のための取り組みを支援します。

泉区の市民健診受診率向上事業
市民健診の受診状況の調査を行い、その結果を活用して、自発的な受診の定着化を図ります。

区役所庁舎建替事業
泉区役所の建て替えや、これを契機とした泉中央地区の活性化に向けた取り組みを進めます。

根白石児童館建設
市民センター大規模修繕（高森、松陵）
市民センター大規模修繕設計（黒松、長命ヶ丘）
泉文化創造センター大規模修繕

南光台東コミュニティ・センター大規模修繕
道路整備
泉塩釜線、桂島上野線等の整備を行います。

橋りょう整備
馬橋の架け替え工事や、泉中央駅ペDESTリアンデッキ等の補修工事をを行います。

公園整備
将監ふれあい公園、南光台ふれあい広場公園等の整備を行います。

- 未来につながる地域力推進事業
泉西部地区の活性化に向け、住民主体の活動や地域の魅力発信への支援を行います。また、少子高齢化等の課題がある地区で、地域の方が大学や民間事業者等と協働で行う地域課題解決のための取り組みを支援します。
泉区の市民健診受診率向上事業
市民健診の受診状況の調査を行い、その結果を活用して、自発的な受診の定着化を図ります。
区役所庁舎建替事業
泉区役所の建て替えや、これを契機とした泉中央地区の活性化に向けた取り組みを進めます。
根白石児童館建設
市民センター大規模修繕（高森、松陵）
市民センター大規模修繕設計（黒松、長命ヶ丘）
泉文化創造センター大規模修繕
南光台東コミュニティ・センター大規模修繕
道路整備
泉塩釜線、桂島上野線等の整備を行います。
橋りょう整備
馬橋の架け替え工事や、泉中央駅ペDESTリアンデッキ等の補修工事をを行います。
公園整備
将監ふれあい公園、南光台ふれあい広場公園等の整備を行います。

令和5年度予算のあらまし

一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策費や、市営住宅建設費の増加などにより、前年度比218億円増の6,147億円と、当初予算では過去最大の規模となりました。

また、特別会計は公債管理特別会計における公債費の増加などにより52億円増加、企業会計はガス事業における原料費の増加などにより245億円増加し、一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算総額は1兆1,891億円と、震災以降引き続き1兆円を超える規模となりました。

歳入 市税収入や国庫支出金が増加

市税収入は、土地に係る軽減措置の終了等による固定資産税の増加などにより、74億円増加しました。また、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の増加などにより、56億円増加しました。

歳出 義務的経費は減少、投資的経費は増加

【目的別の歳出】 新型コロナウイルス感染症対策費などが増加した健康福祉費が2,456億円（40.0%）となり、最も大きな割合を占めました。次いで学校建設費などが増加した教育費が1,049億円（17.1%）、土木費が604億円（9.8%）、公債費が587億円（9.5%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障関係費等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、扶助費と公債費は増加しているものの、定年延長となった職員の退職手当が後年度に支給されることなどから人件費が減少し、前年度に比べて34億円の減少となりました。また、投資的経費は、鶴ヶ谷第二市営住宅団地の再整備に係る経費の増加などにより、前年度に比べて100億円の増加となりました。

「未来を開く、一人ひとりの挑戦と活躍を支えるまち」の実現に向けた重点的な予算配分

本年度予算においては、歳入歳出両面から財政運営の持続性確保に努めるとともに、コロナ後も見据えた本市の未来のまちづくりに踏み出すため、施政方針に掲げた施策の3つの柱である「ひとが輝く、デジタル化を推進する」・「ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む」・「すべてのひとが活躍できるまちの魅力を創造し、発信する」に重点的な予算配分を行いました。

また、長引くコロナ禍や物価高騰への対応が引き続き必要であることに加え、社会保障関係費や公共施設の長寿命化対策費等の増加が見込まれることから、中長期的な視点で、持続可能な財政基盤の確立に向け取り組みを進めていきます。

予算についてのお問い合わせは

財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、

または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

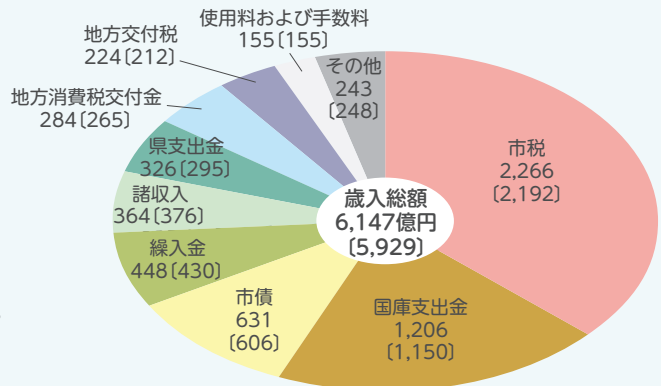
令和5年度の会計別の予算規模

	令和5年度（前年度比）
一般会計	6,147億円（218億円増加）
特別会計	3,203億円（52億円増加）
企業会計	2,541億円（245億円増加）
合計	1兆1,891億円（515億円増加）

歳入内訳（一般会計）

（単位：億円）

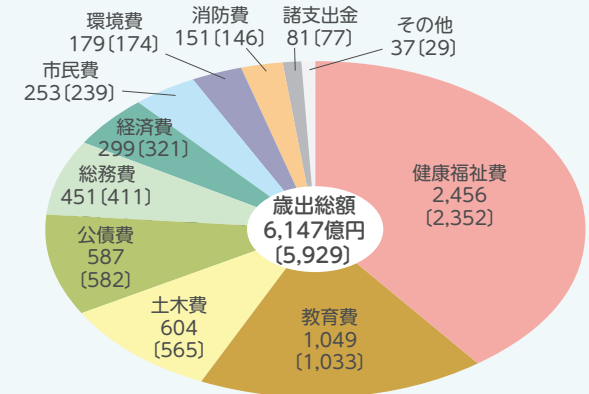
※〔 〕内の数字は令和4年度当初予算の金額



【目的別】歳出内訳（一般会計）

（単位：億円）

※〔 〕内の数字は令和4年度当初予算の金額



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

（単位：億円）

